

「神の救いの歴史」

(サムエル・テリエン著 新版聖書の歴史による)

24.9.11(木)

1 原初史 (創世記 1~11 章)

天地創造賛歌 (創世記 1:1-2:4a)

*手引きの「第一課題」参照。

文明のはじまり

文明はメソポタミアの緑地帯で始まった。おらく B.C.4500 年ごろには、定住者は堤防を築き、灌漑用の水路と干拓のための運河を掘り始めた。

運河を掘ることによって、すなわち、沼地の干拓、洪水の防止、人や物資を舟で運ぶ水路網の発達である。

* 古代近東地方の地図を参照 (新版 聖書の歴史 サムエル・テリエン著 創元社 4-5 頁)

肥沃な三日月地帯 (水と食物のある地域)

洪水伝説 (創世記 6 : 1-9:29 参照)

バベルの塔の物語 (創世記 11:1-9)

*手引きの「第 3 課題、第二テーマ」参照。

2 族長時代 (創世記 12~50 章)

* 手引きの「第 4 課題 信仰の先達アブラハムに倣う

第 5 課題 ヨセフの信仰と心の傷のいやし」参照

3 エジプト帝国と出エジプト (出エジプト記 1~15 章)

* 手引きの「第 6 課題 神による解放への参加

第 7 課題 契約の民の形成」参照。